

神高SSH通信

☆ 夏期 SSH 事業報告 (その1)

この夏に実施された SSH 事業の一部を紹介していきます

★SSH 生徒発表会 (8月5~7日)

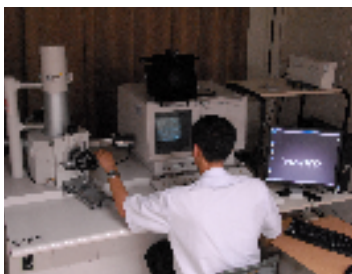


全国の SSH 指定校が横浜に集まり、研究の発表（口頭発表とポスターセッション発表）をする事業（全国大会）で、毎年この時期に実施されています。今年度、本校はポスターセッション発表のみでの参加で、校内で選ばれた3年9組のさんとさんの研究班が参加しました。この研究は2年次の課題研究で取り組んだ研究内容で、当日は、その堂々とした発表と高いレベルの研究内容と周囲から高い評価を得ました。次年度は「口頭発表」と「ポスター発表」の両方での参加予定です。

(参加生徒感想) 8月5日から3日間、私たちは課題研究の発表会に参加しました。私たちの発表内容は前回の校内での発表と同じく、「ミドリゾウリムシとクロレラの共生」でした。横浜の会場は広く、「どんなすごい科学者が発表するのか?」と言いたくなるくらい立派な設備を備えていました。発表は口頭発表とポスターセッションの2通りの方法で行われました。そしてそのどちらもすごかった!発表する側もそれを聞いて質問する側もどちらも本当に研究内容に関心を持っていました。シロアリについてもすごく熱心に語る人、オオサンショウウオのぬいぐるみをかかえて見せている人、深海エビの産卵時期を示すグラフをじっと見つめて首をかしげている人、また、私たちの発表(ポスターのみの発表でした)を聞いて、「これって、どういうこと?」ならまだしも、「これってどうしてこうなるの?こうしていいの?」などと聞いてくる人までいて、正直少し辛かった(笑)です。でも、「本当の発表会」といった雰囲気を味わえて、少し強くなった気がしました。いろいろ思いがけないハプニングもありましたが、やっぱり横浜でこうして研究発表ができてよかったと思います。



★神戸大学電子顕微鏡実習 (7月31日): 自然科学研究会生物班



(参加生徒感想) 電顕のすごさを実感することができてよかった。小さな虫であっても電顕を通してみると目やけなどがくっきり見えておもしろかった。また、消しゴムは表面がぼこぼこしていて小さな粒子からできていることを初めて知った。電顕でみた小さな世界は、さながら小宇宙で、なんでここに毛があるんだろう、どうしてこんな構造になっているんだろうなど、たくさんの疑問を生み出してくれた。こうした疑問は将来への糧となると思う。いつか自分の手で答えを知りたい。また、ミトコンドリアを見ることができたのは、とてもよかった。僕の家にもほしいと思った。

★地学班天体観測（7月26～28日）：自然科学研究会地学班

（参加生徒感想）こんにちは。神戸高校地学班です。地学班では7月26日～28日に、鳥取県さびアストロパークという国内でも有数の「星のよく見える」場所へ行きました。今年は、バスを降りたときには、土砂降り、天気予報によると曇り続き。今回は星を見るのは断念するしかないのか…!?と思われましたが、神様が味方してくれたのか、夜半すぎに外に出てみると、見事な満天の星空を見ることができました。この日見た夜空は合宿のメンバーの心に少なからず感動を与えたと思います。

合宿以外では、校外観測会があります。そして、今は7月にありました日食のデータをもとにした研究、神戸での夜の明るさなどを調べています。

最後に、地学班ではまだまだ部員募集中です。主にやっていることは星、天体、現象に関することで、いわゆる天文の分野です（天文班といってもいいくらいです）。なので少しでも星が見たいという人はぜひ地学班へ!!



★地震火山こどもサマースクール（8月7～10日）：2年課題研究



（参加生徒感想）この8月僕らは数越先生と伴に山口県萩市で開かれた第10回地震火山こどもサマースクールに参加して様々な体験をしました。特に高温のガラスを流して溶岩流を再現する実験や、歯科印象剤を使った火山体形成実験は印象に残りました。いつも学校で行っている歯科印象剤を使った実験を小中学生と一緒にいき、一度に8つのサンプルを見ることができてとても良かったです。また歯科印象剤を1回流したサンプルは、萩市にある溶岩台地の外見ととても良く似ていて驚きました。そして千数百度のガラスを流して溶岩流をつくる実験では、目の前にあるきれいな赤いガラスが手をかざすと強烈に熱いことが実感できました。この四日間

間で地震や火山現象にとっても興味を持つことができました。

★生物臨海実習（8月18～20日）：希望者

今年度初めてのSSH企画で、希望者を募って、高知大学海洋生物研究教育施設で実施されました。3日間で、海洋生物学・海洋生態学などの講義だけでなく、海洋実習、採集、夜間生物観察などのフィールドワークも行われました。

（参加生徒感想）僕は生き物が大好きなのですが、今まで海の生物とはあまり接する機会がなく、残念に思っていました。そんな時、今回の臨海実習のことを知り、参加を決めました。実習では船からプランクトンネットを使って浮遊生物を採集したり、水質調査をしたりしました。ヒトデやナマコ、ウミウシなど、水族館でしか見たことのないような生物にもたくさんお目にかかることができました。夜の海岸探索ではたくさんの生物たちが懐中電灯の光に寄ってきて、おもしろかったです。ライトに照らされてふわふわと浮かぶクラゲがとても幻想的でした。他には採集した微生物を顕微鏡で観察したり、生物の種類を調べてそれらをグループに分けたりしました。海にいる危険な生物も覚えることができ、今後の海での活動に役立ちそうです。今回の臨海実習に参加してたくさんの貴重な経験ができました。また機会があればこのような活動に参加したいです。



<お知らせ>

第5号でアナウンスしていましたがSS特別講義ですが、日程の関係で9月上旬には実施できません。実施の目途がたちましたらSSH通信などで連絡します。